

令和2年度 第1回 八幡多職種連携研修会 アンケート結果

総数：54枚（参加者：会場55名＋オンライン66名）

※回答率：44.6%

1. 現在の職種を○印で囲んでください。

- ・医師・歯科医師・薬剤師・看護師・介護支援専門員・MSW・介護職員・相談員・リハビリ職・行政・社協・まち協・民協
 - ・自治区会・老人会・市民センター等の地域の活動をされてる方・その他（ ）
- （複数回答あり）

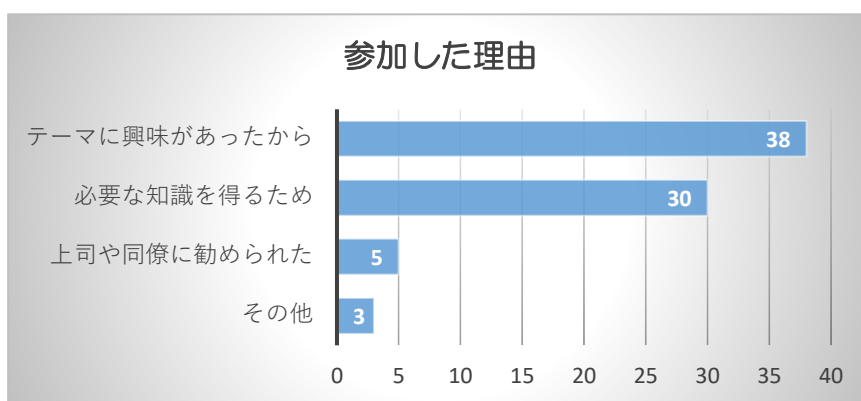
医師	（ 6名 ）
歯科医師	（ 2名 ）
薬剤師	（ 8名 ）
看護師	（ 9名 ）
CM	（ 11名 ）
MSW	（ 2名 ）
社会福祉士	（ 1名 ）
介護職員	（ 3名 ）
相談員	（ 1名 ）
リハビリ職	（ 2名 ）
行政	（ 2名 ）
社協	（ 3名 ）
自治区会	（ 1名 ）
その他	（ 5名 ）

保険師（1）臨床心理士（1）連携室（2）病院事務（1）健康運動指導士（1）

2. 今回の研修会に参加された理由として、あてはまるものに○を付けてください（複数回答可）。

- ・テーマに興味があったから
- ・必要な知識を得るため
- ・上司や同僚に勧められた
- ・その他（ ）

テーマに興味があったから	（ 38名 ）
必要な知識を得るため	（ 30名 ）
上司や同僚に勧められた	（ 5名 ）
その他	（ 3名 ）

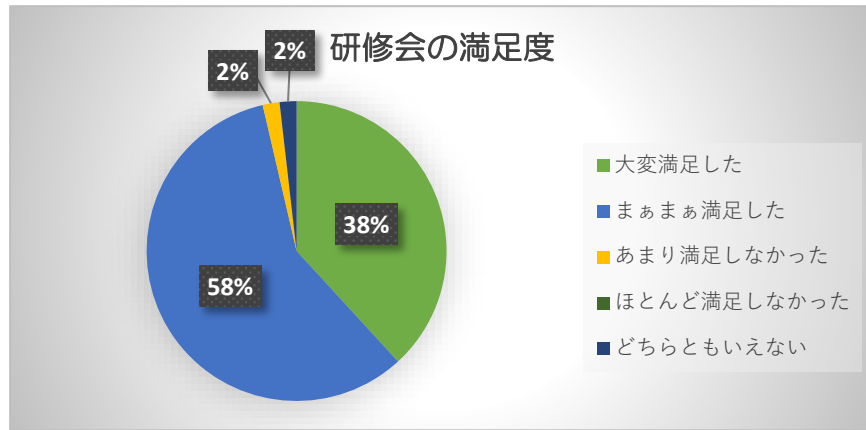


3. 今回の研修会は、あなたにとって満足のいくものでしたか。あてはまるもの1つに○を付けてください。

また、そう思う理由をご記入下さい。

- ・大変満足した
- ・まあまあ満足した
- ・あまり満足しなかった
- ・ほとんど満足しなかった
- ・どちらともいえない

大変満足した	（ 21名 ）
まあまあ満足した	（ 32名 ）
あまり満足しなかった	（ 1名 ）
ほとんど満足しなかった	（ 0名 ）
どちらともいえない	（ 1名 ）



4. そう思う理由をご記入ください。

〔大変満足した〕

- * とびうめの現状を知れた
- * とびうめ@きたきゅうの現状が分かり、良かった
- * 地域作りについての考え方やとびうめ@きたきゅうの大切さをあたたかい言葉で感じることができた
- * 地域包括ケアシステムの構築のため、精神障害者も地域でくらすためのチームのつながりをつくることを意識して、支援していきたい
- * 安藤さんの話が良かった
- * 障害のある方をサポートするしくみをつくるのが大切だと思った。
- * 家族まるごとケアの大切さ
- * 安藤様の実体験から来る話は本物であり、心に響きました。生き様そのものであり、使命なのだと伝わります。
- * とても貴重で素晴らしいお話でした。
- * 地域づくり 地域包括システム つながり 本人・家族との関わり レッテルはらない ピアサポーターピアを含めた活動 かかりつけ精神科医 とびうめ@きたきゅう
- * とびうめ@きたきゅうの進捗状況の報告も満足できたし、講演内容も良かったと思う。
- * 当事者、関係者のお話を聞けた。
- * 精神障がいの方々が、安心して暮らしていける事について、深く考えるきっかけになりました。
- * 医療モデル→社会モデル、生活モデルにシフトしていくという視点が今からは必要になることがわかった。（家族機能をあてにすぎないこと）
- * ご自身の実体験をベースにお話され、大変分かりやすく思いも共有でき、本当に考えさせられる講演でした。ありがとうございました。
- * ハイブリッドでのつながりを感じ安心した。（地域でつながってると感じた）
- * 今回のように症例に実際に係わった方の話は重いです。
- * 発達障害、自閉症、地域など、一くくりにして個別化していなかったことに気が付いた。また、人との出会いを一つずつ大切につないでいきたいと思った。
- * 安藤課長は行政官でもあり当事者でもある素晴らしい人材だ。信用できる人物だから。

〔まあまあ満足した〕

- * 支える仕組みが少し理解できた
- * これからの精神障害者のことがわかった。
- * 精神障害者の方の北九州の取り組みが少し分かった。
- * 北九州の現状を知ることができた。
- 一人一人の地域での生活が権利であることに感銘を受けた
- * 分かりやすい講演でした。
- * 発達障害のもっと具体的な症状や、生活のし方等知りたい。社会でのかかわりも
- * 「最初から完璧を目指さない」という安藤さんのコメントがひびきました。コツコツがんばろうと思います。
- * 障害のある方も、本当に地域とのかかわりがあれば住みやすいのではないかと思います。
- * 「とびうめ」の経過がわかった
- * とびうめの進捗状況がわかりました。
- * Webが途中で切れ見づらかった。
- * 精神障がいについて学ぶことができたので
- * 内容はとても良かったです。配信はラグが多かったので内容が良かったので、しっかり聞きたかったです。ラグが多くてもゆっくりと聞ける配信を今後も希望します。

- *MSPAの情報を得た
- *自分に足りない視点や知識を得られた。
- *内容は大変良かった。行政職の話も親身になって聞けた。ただ、YouTubeでの参加だったので、すべて視聴できたわけではなかった点が残念だった。 新たに観直したいと思う。

〔あまり満足しなかった〕

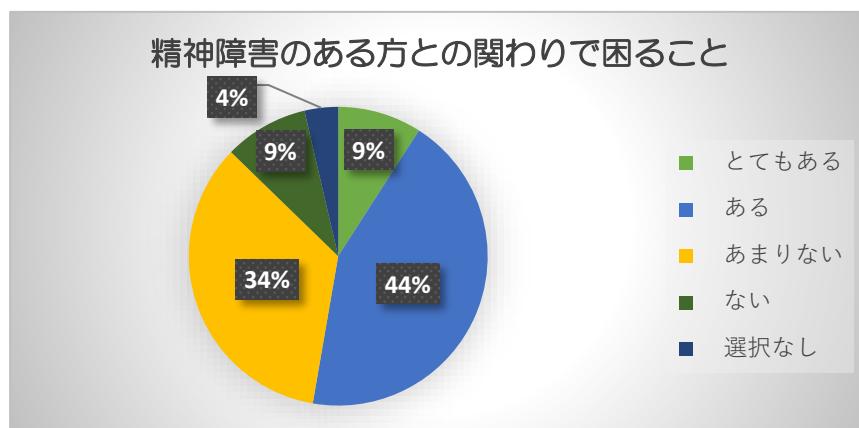
〔ほとんど満足しなかった〕

〔どちらともいえない〕

- *難しい問題がある。西田先生の質問がよかった。

5. 日頃、精神障害のある方との関わりの中で困っていることがありますか？

とてもある	(5名)
ある	(24名)
あまりない	(19名)
ない	(5名)
選択なし	(2名)



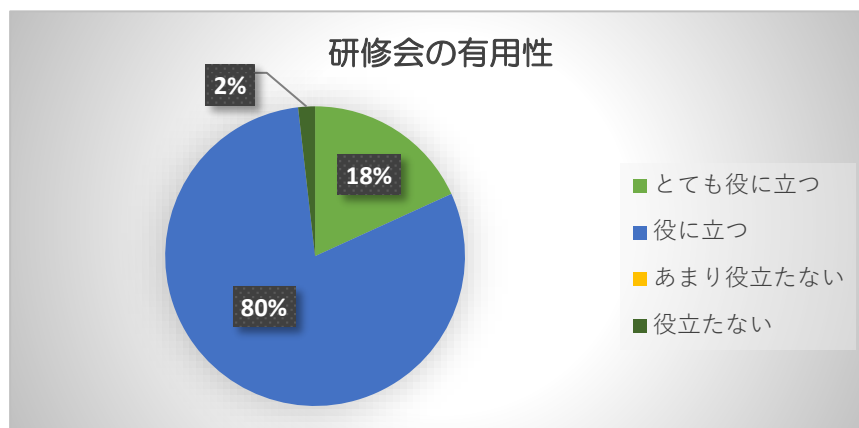
6. 具体的にはどのようなことで困っていますか？

- *表情などがかわると、どう話したり接すると良いのかわからなくなる
- *男性の場合、訪問系サービスをことわられることがある（医療でも介護でも）。必要と思われる医療受診や治療に本人の拒否でつながらなかったり、中断したりするため。相談のルールが、夜間休日もあるので、支援する際に個人的に負担に感じることがあります。
- *80 50の家族がいる
- *家族、サポーターが居ない人への対応が困難
- *今後の治療について参考にしたい（医師）
- *急にスイッチが入ったように表情や言動が変わることがあり、対応が難しく（施設なので）、他の利用者が不穏になることがあります。かかりつけの精神科がある時は、報告、相談できますが、かかってない時に病院へつなげることに難しさを感じています。
- *依存症の方への関わり方
- うつ病の方の希死念慮、リストカット
- 内服管理
- *HP受診につながらない、薬の自己中断による症状悪化、近隣トラブル、家族の支援
- *介護拒否等
- *認知症の方の対応、家族も含めて
- 重層的支援、仕組みの理解不足
- *家族か、自立か、支援が

- * 歯科治療中に理解させるのがむずかしい（歯科医師）
- * 精神障害なのか認知症なのか診断があいまいな利用者の対応や家族への助言が難しい
- * どこまでかわったらよいのか
- * 他者の言葉にパニックになり、体調をくずし欠勤するスタッフとどう接していけばいいのか、
- * 軽度発達障がいの方が親の介護を担ってがんばっているがから回りしている家族に出会う事がある。
介護保険だけで対応出来ない事を痛感する。
- * 認知症の方の対応に苦慮しています。
- * 教育期間は、まだ所属・居場所があるが、それが過ぎると社会の中で居場所が少ないことで、
困ることがある
- * 精神障害のある妊婦さんや母の対応、また診断は無いがそう思われる方の受診や生活のサポート等
- * 家族だけでは支援できない時、精神障害のある方を見ていただけたところをさがすことが大変。また、
施設（病院）の受け入れ先が中々ない。
- * 入院された支援のご家族が障害をおもちで、なかなか連絡できないなど
- * 児童クラブの運営（発達障害児）
専門知識を有する指導員の確保が難しい
- * 処方元が精神科であるので。
- * アルコール依存症や妄想性障害、陽性症状が強く出ている統合失調症のある人へ、どのように
関わったり支援していくか、悩むことが多い。
- * 関わり方、聲のかけ方について
- * 訪問診療で関わると、すでに精神科での訪看が入っておりケアプランが不明なことが多い。蚊帳の外状態？

7. 今回の研修が今後に役立ちそうですか？

とても役に立つ	(10名)
役に立つ	(44名)
あまり役立たない	(0名)
役立たない	(1名)



8. それはなぜですか？

- 〔とても役に立つ〕
- * 厚生労働省の報告、今後みてみて、勉強しなくてはと感じました。
 - * 理解ができた
 - * 奥様の広島行き話が、映像として浮かんで来ます。自分の人生に於いても、その様な地域が
作れたらナと考えた想いを、心の奥から思い出しました。やらねばと思いました。
 - * 地域づくりに主体的に取り組んで行こうと思えたので。
 - * 北九州市の取り組みが色々あると初めて知りました。
 - * 「最初から完璧を目指さない」のスタンス（心持ち）で、物事にあたるという力みすぎないことが
役立ちそうです。
 - * 当事者の声をいかに拾えていなかったのか、もっと耳を傾けていかねばならないと思った。
この思いを地域や医療従事者、福祉関係者などに広げていきたい、広げることが任務であると感じた。

- * 地域共生社会の中で多職種連携を高年齢者対策にだけで留めないように世の中を変える必要があり、具体的にどうアプローチしたらよいかを考える機会になった。

〔役に立つ〕

- * 自分にできることは本当に小さいとは思いますが、地域の連携や多職種との連携、精神障害者の自立した生活に役立つかかわりを考えるきっかけになった。
- * 障害があっても、地域で暮らす、地域作りが必要（大事）ということ
- * 精神障害者の方を地域でサポートできたらと思った。
- * 精神疾患の方への基本的な接し方や考え方の共有ができたのではないかと思います。
- * 考える機会になりました。
- * ケア児に対応する力、歯科医の能力が追いついてない。
- * 地域とのつながり、病院―地域
- * 考えるきっかけになりました。
- * 共感した。
- * 障がいについて少し理解ができた。
- * 支援する側、される側を考えることができました。
- * 地域での生活にはなかなか行政との関わりが難しい事もありますが、主体となって動いて頂ける様働きかけたいと思います。
- * 行政とつながり、支援していくことがわかりました。
- * 行政とのつながりを感じた。北九州市のとりくみがよくわかった。
- * 精神障がいに関わる機会があまりなかったので、知識を得ることができたので。
- * 差別しない、区別しない事の大事さが良くわかった。
- * 患者だけでなく患者家族へのサポートや対応も考えさせられた。
- * 介護支援専門員をしていて、精神に何かしらの問題があると思われる方の対応もあり、このような専門的な研修を受ける事で、何かの一助を担えると思えると思う。

〔あまり役立たない〕

—

〔役立たない〕

- * 講演内容については、業務とあまり関係がない為、とびうめ@きたきゅうのお知らせは今後の業務に役立ちそうです。

9. 今後の研修会で、取り上げて欲しいテーマや要望・ご意見がありましたらご自由にお書きください。

- * 多職種とのつながる方法、きっかけづくりのテーマを希望したいです。
 - ・ ケアマネが、主治医などの医療チームとつながったり助言をもらったりするのに、時間がかかったり、遠慮する気持ちがあります。
 - ・ とびうめ@きたきゅうのように、介護・ケアマネ側も医療や障害福祉の情報がみられたら、さらにつながりが増えたりするのかなと思います。
 - ・ 高血圧や糖尿病連携手帳も連携ツールになるので、活用できたり…とかです。
- ・ 一久しぶりのホールでの研修、ハイブリッド型ですいてよかったです。
- * とじこもりの人への接触について
- * 地域医療の連携についてどのような方法をとっているのか
- * 障害福祉サービスを利用していた人が65才になった時のこと→介護保険優先となり困る方がいること
- * 発達障害の方が、福祉とかかわりながら、生きていく姿を教えてほしい
- * 各職種が思っている悩みを言える場所があればいいんじゃないかと思います。
- * 多職種連携についてもっと知りたい（薬剤師）
- * 今後もWebでの研修を増やしてほしい。
- * 「とびうめ@」は早期に市内全病院・クリニックが参加してほしい。
- * 配信がうまくできていないようなので、次回以降はしっかり見れるようにして欲しい。
- * 認知症を患う方の成年後見制度への導きについて、具体的な事例を学びたい。
- * 医療的ケア児を地域でどのようにサポートしていくのかを具体的に話し合う機会が必要。
- ・ 少数の人間だけが関わる現状はよくない。在宅医会と連携センターも積極的に関わるべきだ

※ アンケートにご協力ありがとうございました。頂いたご意見を原文のまま記載しております♡